

AI 患者日誌を用いた化学療法副作用の解析

1. 研究の対象

2025 年 9 月～2026 年 6 月に当院の AI 治療日誌を利用した方

2. 研究の概要

化学療法における副作用のコントロールは化学療法の継続に影響を与え、予後にも影響を与えます。そのため、化学療法を行う際には副作用のコントロールは重要です。当院では 2025 年 9 月より AI 治療日誌を開始しました。このシステムにより、研究対象者の自宅での症状を病院で確認できるようになりました。また、このように入力されたデータを解析することによって副作用出現の傾向を把握することが今回の研究内容です。この研究は今後の副作用対策に役立つこととなります。

研究期間: 総長の研究実施許可日～2031 年 3 月 31 日

研究目的: AI 治療日誌のデータから副作用の出現傾向を明らかにすることです。

研究方法: 研究対象者が AI 治療日誌に入力されたデータと研究対象者の診療録を後ろ向きに調査し、副作用の出現傾向や背景因子別の出現率の評価などを行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、抗がん剤治療の治療歴、手術歴、使用薬剤、副作用等の発生状況、カルテ番号、AI 治療日誌に含まれる情報（血圧、体温、体重、副作用の種類、程度）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 医療情報部 研究責任者 西村 潤一

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上